

No.	事業名							
部名				課名				
総合計画上の位置付け	章				展開方向			
	基本施策							
	施策							
関連計画等								
協働の相手				協働の形態				
実施の時期				事業開始年度				
区分	特記事項							
(単位:千円)	H28	H29	H30	H31	H32			
計画額								
決算額								
事業の概要・目的	10							
達成目標	目標							
	目標値	単位	年度	H28	H29	H30	H31	H32
		目標値						
実績値								
平成29年度実施計画		P<計画>	D<実行>	C<評価>	A<改善>			
	市(行政)							



平成29年度 事業評価	協働の原則に基づいた評価項目					行政の 評価	協働相手の 評価	
	対等性	互いに対等の関係を保つことができたか。						
	5 4 3 2 1	相互理解	互いの立場や特性を相互に理解し尊重したうえで、それぞれの役割を明確にすることができたか。					
	← ← → →	自主性尊重	協働相手の長所を活かし、協働相手の自主性を尊重することができたか。					
	できた 少し できた できなかった できなかった	自立化	依存や癒着の関係に陥ることのないよう、協働相手の自立化を進められたか。					
		目的共有	協働相手と目的を共有することができたか。					
		相互補完	互いの特性を踏まえつつ、互いに補い合いながら役割分担することができたか。					
		公開	協働事業のプロセスや結果等の情報を公開し、市民に対する説明責任を果たすことができたか。					
		相互変革	協働を通して「共に学び」「共に育ち」「共に変わる」という姿勢や意識を持つことができたか。					
		期限設定	馴れ合いを防ぐため達成目標や事業期間など協働関係を解消する条件を決め、緊張感を保つことができたか。					
評価点					0	0		

総合点	0
行政・協働相手の評価点を合計して算出 (※協働相手の評価が未記入の場合は行政の 点数を2倍して算出)	



総合評価				
A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
90~76	75~61	60~46	45~32	31~18

	行政の意見	協働相手の意見
協働によって得られた効果		
協働することで見えた課題や協働相手に対して求めることなど		